

第 1 回 開催報告

【西部中学校区】

（出席者）参加者：7 名 ファシリテーター：2 名

1 開催結果

西部中学校区では、特に「地域活動」「防犯・防災」の分野に多くの意見があげられており、今後 6 年間で取り組んでいくべき優先課題としても選定されています。

「地域活動」の部分では、魅力としてもあげられているサロン活動等の強みがありながらも、参加者の固定化・なり手不足といった点が課題となっています。その背景として、昔からの住民と新しい住民との交流の不足等による、地域のつながりの限定化が考えられます。ふれあい・いきいきサロンや防犯パトロールなど、地域活動は行われているものの、地域全体での活動には至っていないことが課題となっています。

また、「防犯・防災」の分野では、主に自転車マナーの低下、高齢化による運転の不安などについて意見があがりました。また、「安全な暮らしづくり」という点では、困っている人がいるかもしれないが、個人情報の兼ね合いでその把握ができないことも課題としてあげられています。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした。江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

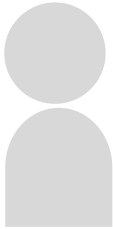
【その他主な意見】

- ・ごみ屋敷への対策
- ・空き家対策（防犯対策・景観対策）
- ・子どものいじめ問題、不登校に関する問題
- ・障害のある人・子どもへの理解
- ・ライフステージに切れ目のない障害のある人への支援
- ・家族介護者への支援

2 第2回に向けた人物設定

優先課題①地域活動の活性化(参加者の拡大・担い手の育成)

◆課題を抱えている人物設定



Aさん

- ・意欲を持って地域活動に参加している女性。(サロン活動、防災パトロールなど。)
- ・70歳代。自身も周りも高齢化しており、新しい参加者もなかなか増えていかないことから、このままだと活動自体がなくなってしまわないかと不安に感じている。
- ・高齢になってからマンションに住み始めた方や、転入してきた若い世代とは交流の機会がない。そのため、そういった層には声がかけづらく、活動参加者の広がりが少ない。関わりがないために、困りごとを抱えている世帯を把握できていないのでは、という不安もある。

優先課題②安全・安心な地域づくり



Bさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・近所の道を通って学校に通う小学校低学年の子ども
- ・親は共働きで平日昼間は家にいない。
- ・家の近所に通う自転車マナーが悪い高校生や、高齢ドライバーなどにより、登校時に危険な思いをしたことがある。
- ・大人が誰もいない道を通ることも多い。防犯上の理由から、知らない人と話してはいけないと言われており、近所の人と挨拶を交わすことも少ない。

参考 意見一覧

魅力	
・市長の出身学区で市のバックアップが期待できそう	
・昔からの付き合いが残っている	・サロンが複数箇所ある
・民生委員が若い方が多い	・お店の方が高齢者へ声掛け訓練に協力的だった
・大型スーパーがある	・大きなショッピングセンターがある
・歩いて生活するには割と便利	・買い物など安心して生活できる
・子ども達が少ないがあいさつ等しっかりできる	
・地域の子も達はあいさつできる子が多い	
・大人も子どももあいさつができています	
・区がマンションなので、割と顔馴染みに成りやすい	
・子どもが元気に外で遊んでも、目が届く所に公園がある	
・セーフティネットの方達は、子ども達の見守りに加え、道のごみも拾いながら活動してみえる	
・生活環境が良い(夜は消灯する、生活リズムが規則的な家が多いなど)	
・防犯パトロールを行っている	・概ね治安が良い

課題 意見一覧

分野	課題
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアハウスでのサロン運営ですので、入居者以外の参加がほとんどいない ・サロンの参加者が固定化している ・人材育成の必要性（担い手づくり） ・地域活動等の指導者講座等を行ってほしい ・地域活動をしなくても役員の参加が多く、住民の参加は少ない ・ケアハウスの主なメンバーが高齢化している ・区としての自治会活動が減ってしまった ・防犯パトロールのなり手不足 ・防犯、防災等のパトロール参加者が少ない
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ屋敷。道路まで物が溢れてきた ・空き家が多くなった ・学生の自転車の乗り方が不安 ・男性老人世帯 → 脳梗塞（軽度） 自動車の運転をしている ・高齢者の自動車運転

分野	課題
ボランティア・市民活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者の方でマンション特有の悩み、エントランスからの訪問がしづらい。(ドア解除できる?など) ・本当に困っていることは言いにくいのではないか ・こちらが心配なお宅ほど、関わりを嫌う ・困っていることを発信できない人がいる
つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・古い方と新しい方との関わりが少ない ・年をとってからマンションへ住み始めた高齢者の方のつながりが少ない
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的な情報が全く入ってこない ・防災面で近隣の事情を把握ができていない
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの不登校、いじめに関心が少ない
障害者(児)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者に対する理解が薄い ・発達障害児に対する理解が少ない ・障害を持つ子どもの学齢の引き継ぎがうまくいかない
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人の所在が掴みにくい ・高齢者の二人暮らしの方が増えている ・家族介護をしている方の支援が少ない ・老々介護の世帯があり、困っている人がいる

